産学・地域
協働推進機構

INSTITUTE FOR THE
PROMOTION OF
BUSINESS-REGIONAL
COLLABORATION

https://www.mcip.hokudai.ac.jp/

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

ABOUT 産学官連携について

北海道大学では、大学で成された研究成果の社会還元を具体化する組織として産学・地域協働推進機構を設け、産業界、自治体等と連携した活動を行っています。

- 知的財産の発掘、権利化、活用等に関する業務
- 知財を核とした、共同研究の推進
- 組織型産学連携の推進
- 大学発スタートアップ支援および起業家育成（アントレプレナーシップ）教育の実施
- 北大ブランド商品の企画・開発
- 大学における産学・地域協働のワンストップ窓口
- 地域協働プロジェクトの推進

「光」は「北」から「北」から「世界」へ

北海道大学は、2026年に創基150周年を迎えます。

この記念すべきマイルストーンの年、

北大は世界の課題解決に貢献する

唯一無二の「比類なき大学」を目指します。

私たちの合言葉は、「光は、北から」。

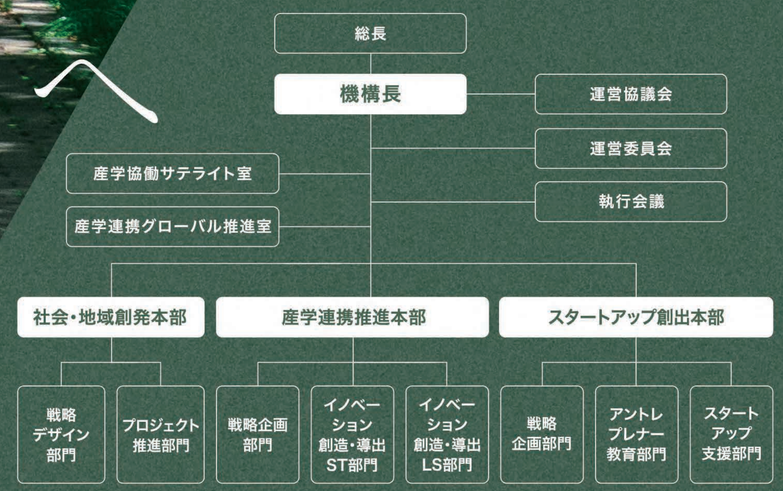
「光」とは、大学としての教育と研究の成果です。

産学・地域協働推進機構の使命は、この本学の「光」を、

地域の、世界の、希望の光にすることです。

光は、北から

150th HOKKAIDO UNIVERSITY



ORGANIZATION 組織体系

- 総長直下に、産学・地域協働推進機構を配置し、機構長は総長が指名する理事が務めます。
- 運営委員会を設置し、重要事項について決議します。
- 知的財産委員会を設置し、職務発明規程に関する異議申し立て等について審議します。
- 産学連携推進本部は、本学の知的財産の活用の推進、産学協働の推進及び産学協働を担う人材の育成を行います。
- 社会・地域創発本部は、地域協働の推進及び地域協働を担う人材育成を行います。
- スタートアップ創出本部は、アントレプレナーシップ教育及び本学の知的財産権等を活用して設立したスタートアップ企業等への支援並びにこれらを担う人材の育成を行います。
- 産学連携グローバル推進室は、国際的な産学連携活動の推進・強化、北米、欧州、アジアに設置する海外拠点におけるハブ機能、将来的なグローバル産学連携を担う人材の育成を行います。

産学連携の種類

北海道大学の産学連携には大きく分けて4つのかたちがあります。

学術指導	研究促進	事業化推進	アフターフォロー
学術コンサルティング ▶	共同研究・受託研究 ▶	産業創出講座 ▶	学術コンサルティング

01 ACADEMIC CONSULTING

学術コンサルティング

企業等からの依頼に基づき本学の教職員が、専門的知識に基づいて指導又は助言を行う制度。

最新の知見を持つ北大の研究者から、学術相談や技術指導などのコンサルティングを受けられます。

【研究費】両者協議で決定　【間接経費】30%
【契約期間】時間・月・回数等　【最終目標】課題解決/プレ共同研究

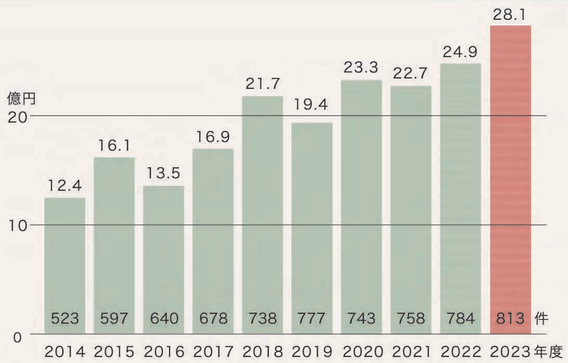
02 COLLABORATIVE RESEARCH

共同研究

本学の教員と企業等の研究者が、対等の立場で共通の課題について共同で研究を行う制度。

企業だけでは解決できない課題を、最新の知見を持つ北大研究者と共同して研究を行うことができます。

【研究費】平均350万円/年(2023年度実績)
【間接経費】30%　【研究場所】研究室
【契約期間】任意　【知財の取扱い】発明の貢献度による
【最終目標】研究成果の創出/実証研究



03 INDUSTRY CREATION

産業創出講座

本学と企業等がイコールパートナーシップの下、双方からの研究者が参画し、本学内にラボを創設。継続的な共同研究を実施する制度。

専属コーディネーターの支援や大学の最新設備もフル活用！
組織対組織型の大型共同研究が行えます。

【研究費】原則2,000万円以上/年
【間接経費】30%　【研究場所】大学内に企業ラボを設置
【設置期間】2年～5年(更新可)　【知財の取扱い】契約に基づき、柔軟に対応
【最終目標】事業化/製品化
※ラボ賃料及び企業からの研究者派遣受け入れに伴う費用が生じます。

04 COMMISSIONED RESEARCH

受託研究

企業等からの委託を受けて、本学の研究者が、契約に基づき研究を行い、その成果を委託者に報告する制度。

研究については「お任せ」いただき、北大の研究者が単独で研究を行った成果を委託者に報告させていただきます。

【研究費】両者協議で決定　【間接経費】30%　【契約期間】任意
【知財の取扱い】原則、本学帰属　【最終目標】受託の目的による

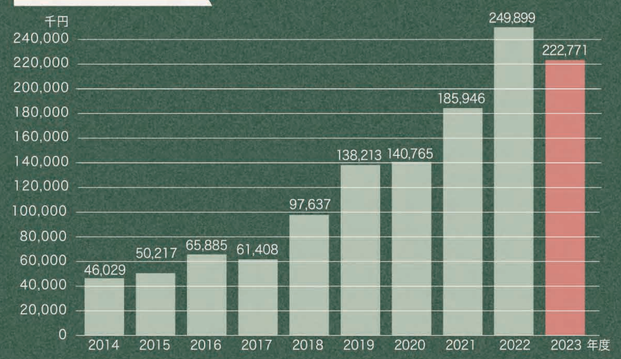
知的財産の管理と活用 INTELLECTUAL PROPERTY

北海道大学では、研究成果の社会還元による対価を教育と研究の質の向上に反映させるため、知的財産マネジメント体制を充実させています。

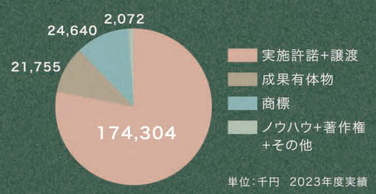
産学連携推進本部で取り扱う業務

◎知的財産権の出願と維持・管理
（特許権・意匠権・商標権・実用新案権・育成者権）
◎技術移転契約（実施許諾・譲渡）◎成果有体物提供契約
◎プログラム、ソフトウエア著作物の使用許諾契約 等

知的財産権等収入

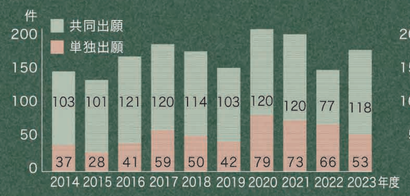


知的財産権等収入の内訳

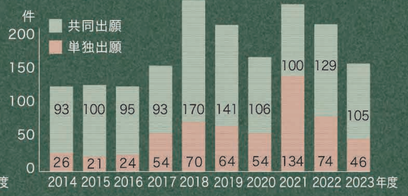


単位：千円　2023年度実績

国内出願



外国出願



特許ライセンス契約

本学が保有する特許権等のライセンスをご希望の場合には、本学とライセンス契約を締結いただきます。契約は、特定の企業のみが独占的に特許発明を実施できる「独占的通常実施権」、複数の企業が特許発明を実施できる「非独占的通常実施権」の他、オプション契約などがあります。

臨床研究データライセンス契約

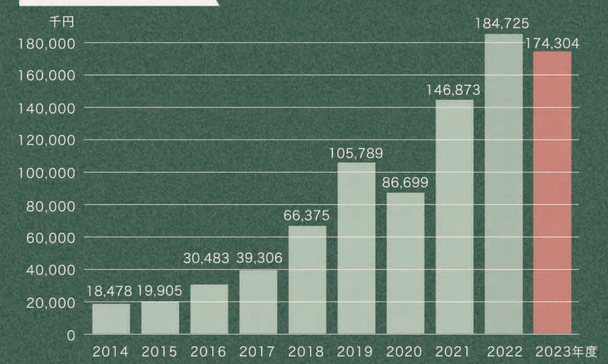
本学が実施した臨床研究等により、得られたデータ等を利用する際に必要となる契約です。臨床研究データ等の学術上及び産業上の利用の促進に資することを目的としています。

成果有体物提供契約（MTA）

成果有体物とは、研究の成果として、又は研究を行う過程において得られた試薬、試料、実験動物、菌株等の有体物をいい、提供にあたり成果有体物提供契約（MTA:Material Transfer Agreement)の締結が必要になります。化合物やデバイス、装置なども同様に取り扱われます。

※上記契約に加え、本学知的財産権に関する契約には、秘密保持契約、ノウハウライセンス契約があります。

特許権実施等収入



商標・ブランド使用許諾契約

本学の研究成果や成果物を活用して開発された商品に対し、本学のシンボルマークや名称使用を希望される場合は、商標使用許諾契約を締結しています。これらの商品は「北大ブランド認定商品」として機構のHP等でも紹介しています。

HOKUDAI GAGOME 北大ガゴメ®　北大ラズベリー®

START UP スタートアップ

北大発スタートアップを支援して北海道を世界的課題解決先進地域へ

「スタートアップ創出本部」新設で大学発スタートアップ創出力を強化

北海道全体を見据えた大学発スタートアップ企業等の創出機能を強化するため、2023年4月1日に産学・地域協働推進機構内にスタートアップ創出本部を新設しました。「アントレプレナー教育部門」、「スタートアップ支援部門」、および本部全体の戦略立案を担うとともに両部門の活動をサポートする「戦略企画部門」の3部門体制で、起業を考える研究者を効果的に発掘しながらスタートアップ支援への伴走支援を行うシームレスな体制構築を目指しています。

【新設】スタートアップ創出本部

スタートアップ支援部門
- ◎ 研究シーズ発掘
- ◎ GAPファンド活用支援
- ◎ 支援者人材育成
- ◎ 起業後のスタートアップ企業支援

戦略企画部門

スタートアップ・エコシステム形成支援プラットフォーム（HSFC）による相互連携運営

アントレプレナー教育部門
- ◎ アントレプレナーシップ教育
- ◎ 人材育成、裾野拡大

アントレプレナー教育部門は起業家人材の育成を進める「学びの場」であり、スタートアップ支援部門は研究成果の社会実装をサポートする「実践の場」です。両部門が持つ情報やノウハウを一元管理し、「学びの場」と「実践の場」がシームレスに連携しながら体系的・相互補完的に大学発スタートアップを推進する全国的にも先駆的な組織です。

全道プラットフォームを組成し、研究開発型スタートアップ創出の加速へ

たとえば人口減少の問題に顕著なように、北海道は他のエリアに先行して社会課題が顕在化する「課題先進エリア」です。今後、様々な側面で生まれる社会課題に対応するためにも、研究の社会実装を加速させるスタートアップの存在は、非常に重要な役割を担っています。そこで本学では、研究開発型スタートアップの創出・育成を推進するための全道プラットフォームーＨＳＦＣ<エイチフォース>を2021年より組成しています。現在では、19大学と4つの高専、自治体や金融機関、そして地域の主要企業が加わる産学官金のネットワークへ成長。研究シーズの発掘から、その先の起業、事業拡大に必要なサポート体制の構築を推進しています。

共同機関

学

◎ 札幌医科大学　◎ 室蘭工業大学　◎ 北見工業大学　◎ 公立はこだて未来大学　◎ 北海道科学大学
◎ 旭川医科大学　◎ 帯広畜産大学　◎ 北海道教育大学　◎ 北海道情報大学　◎ 北海学園大学
◎ 北海道医療大学　◎ 苫小牧工業高等専門学校　◎ 旭川工業高等専門学校　◎ 函館工業高等専門学校

19大学 4高専 および18機関・5自治体

主幹機関
- ◎ 北大プロフェッショナルズ
- ◎ 北海道大学

共同機関
- ◎ 小樽商科大学
- ◎ OBS（商大ビジネススクール）

◎ 藤女子大学　◎ 札幌市立大学　◎ 公立千歳科学技術大学　◎ 酪農学園大学
◎北星学園大学　◎ 釧路工業高等専門学校　◎ 函館大学

協力機関

産
- ◎ 北海道科学技術総合振興センター
- ◎ 北海道経済連合会
- ◎ IKEUCHI GROUP
- ◎ LINK-J
- ◎ エア・ウォーター北海道
- ◎ SCSK　◎ 北海道ガス

官
- ◎ STARTUP HOKKAIDO 札幌市・北海道・北海道経済産業局
- ◎ 江別市　◎ 帯広市
- ◎ 函館市　◎ 中小機構
- ◎ 道総研　◎ 産総研

金
- ◎ 北洋銀行　◎ 北海道銀行
- ◎ KPMG あずさ監査法人　◎ SMBC 三井住友銀行
- ◎ 日本政策金融公庫　◎ 日本政策投資銀行
- ◎ D2 GARAGE　◎ Hokkaido Venture Capital
- ◎ 北海道共創パートナーズ

GAPファンド（スタートアップ創出プログラム）による起業支援

GAPファンドとは、新しい現象の発見を目指す基礎研究ではなく、研究成果と事業化の間のギャップを埋めるため、事業化に向けて達成すべきマイルストン（研究開発および事業化に向けて節目となる中間目標）を設定し、ビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品製作、仮説検証のためのデータ取得（実験結果、計算結果）等の整備を進めるプログラムです。

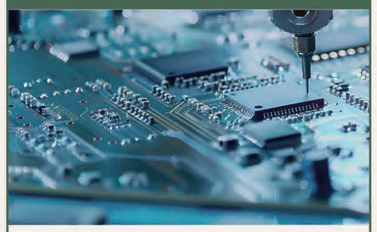
北海道大学を主幹機関とするHSFCは、地域特性・研究の特色を生かした3つの重点領域を設定し、より具体的な社会課題の解決へ挑みます。

アグリ・フード領域

対応する課題

気候/社会情勢の変化による食料課題全般へ対応

環境・エネルギー領



対応する課題

脱炭素・再エネへの転換等次世代エネルギー課題へ対応

創薬・ヘルスケア領域

対応する課題

高齢化課題・ウェルビーイングの視点での健康・医療課題への対応

北海道の地域特性を生かした社会課題型スタートアップを創出し、次世代の「医・食・環境」イノベーションの持続的創出エリアへ

HX（エイチクロス）

HXは北海道大学のフード＆メディカルイノベーション1階に位置するプレインキュベーション拠点です。広大な北海道に点在する大学や研究機関、自治体をつなぐハブとして機能します。

❶X（クロス）ディレクターが常駐

研究成果の事業化を目指す研究者の方の相談はもちろん、ビジネスモデルの検討や事業計画の策定などのサポートを行います。

❷会員制度

無料会員制度と法人会員制度（有料）があります。法人会員制度（有料）では、HXのコワーキングスペース、コミュニティスペース等の利用が可能な無料会員制度のサービスに加えて、右記のサービスをご利用いただけます。

※利用には条件がございますので、お問合せいただくかウェブサイトにて詳細ご確認願います。

- ◎ HXの本店所在地としての住所登記
- ◎ FMI国際拠点の所定郵便受けの利用
- ◎ FMI国際拠点の会議室の利用

HX
HOKKAIDO TRANSFORMATION CROSS SPACE

「客員起業家」の称号付与制度

2024年度から事業構想の経験や研究領域の知見を持つ人材に対して、「客員起業家」の称号を与える制度を開始しました。事業構想の策定や専門家からの助言を含め、事業化へ伴走支援できる体制を拡充していきます。

北大の研究成果を社会実装する「北大発認定スタートアップ企業称号付与制度」

本制度は北大の研究成果を社会実装するために起業したスタートアップ企業を大学がサポートします。申請の対象は、本学で得られた研究成果や修得した技術を活用して本学の教職員や学生が起業した企業が中心となっており、北大のエコシステムの一員として北大とともに成長する企業に称号が与えられます。2023年度中には新たに19社を認定し、2024年6月末時点で累計60社が認定を受けています。

HOKKAIDO UNIVERSITY START UP

企業紹介

MECHANO CROSS

大学院工学研究院
伊藤肇教授

大学院工学研究院
久保田浩司准教授

代表取締役
齋藤智久氏

❶株式会社メカノクロス

本学ICReDD(化学反応創成研究拠点)副拠点長であり有機元素化学研究室の伊藤肇教授および久保田浩司准教授の研究成果である「メカノケミカル有機合成」を活用した企業。医薬品原体や高付加価値な電子材料を製造する際の有機合成の新プロセスの提供が基本事業。石油由来の溶媒を使用しないメカノケミカル有機合成により、環境負荷の低減はもちろん、生産性の向上に大きく貢献しうる技術を保有。

AWL

大学院情報科学研究科
川村秀憲教授

代表取締役
北出宗治氏

CTO
土田安紘氏

❷AWL株式会社

北海道大学と連携し、エッジAIソリューション事業を推進。リテール業界を中核に、エッジAI映像解析のコア技術開発とカメラソリューションを提供し、「人」と「現場」をリアルタイムに可視化する。大学院情報科学研究科・川村秀憲教授及び、代表取締役社長・北出宗治氏により設立、CTOの土田安紘氏も同研究室卒業生。

AQSim

(左) 大学院水産科学院
高橋勇樹准教授

(右) 代表取締役
倉橋康平氏

❸株式会社AQSim

陸上養殖事業を支援するスタートアップ企業。北海道大学大学院水産科学院・高橋勇樹准教授の研究を活用した事業を展開するため、本学水産学部４年(当時)の倉橋康平氏が代表取締役となり設立。倉橋氏はアントレプレナーシップ教育部門が展開するプログラム「みらい創造ワークショップ」の参加者でもある。

アントレプレナーシップを醸成し、次世代のアントレプレナーを育成

アントレプレナーシップ(起業家精神)を身に付けるための様々な教育プログラムを実施しています。アントレプレナーシップを起業のみではなく「変化をチャンスと捉え、自ら進んで行動し、価値を生み出すことができるためのマインドやスキル」と捉え、幅広いプログラムを提供しています。2018年度より大学生・大学院生向けのプログラムを実施してきましたが、2023年度は文科省EDGE-PRIME Initiative事業の後押しを受け、その対象を小中高校生にまで広げました。スタートアップ創出を目指すビジネスの基礎的な知識の育成はもちろん、創造性、不確実性への対処、自己効力感などを挑戦と失敗の経験を通して学ぶ、実践的な取り組みを展開しています。

アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

知識の習得 → 実践

北海道全域へ教育機会を展開
- ◎地理的制約、情報格差
  オンラインの活用で打破
- ◎所属の制約
  連携プログラムを増加し
  オープンバッジで認定
- ◎年齢や学年の制約
  小中高に向けた教育展開
  新入生向けを拡充

段階的な教育プログラムを設計

プログラムをレベルや目的別に提供することで、座学や基礎から演習を経て実践的な行動に移すまでを共同機関・協力機関の教育プログラムも併せて提供なりたい理想像とそのモデルケースを視える化する

具体的な出口への連携

専門家への相談やモノづくり、アイデアブラッシュアップの機会を通じ生きる力を持った起業家を育成する

動機付け・意識醸成 → コンピテンシーの形成 → 社会実装

アントレプレナーシップの醸成　アントレプレナーシップの発揮

企業や自治体と連携したプログラムを展開

企業と連携し開催したハッカソンの様子

STARTUPHOKKAIDOとの連携講義の様子

企業や自治体との連携したプログラムを展開

時代背景を捉えたリアルな活動の場での実践が重要なアントレプレナーシップ教育では、その特性から企業や自治体と連携し実施しているプログラムも数多くあります。主なものとして企業と学生が協力して行う新たな価値共創プログラムであるDEMOLA(デモーラ)、企業と共に講義を創り上げる企業冠授業や学術コンサルティング制度を活用し実施するワークショップやイベント等の共催などがあげられます。幅広く連携が可能なため、より多くの共創パートナーの皆様にご関心をもっていただけることを期待しています。

スタートアップ創出プロジェクト

DEMOLA HOKKAIDO

DEMOLAは企業と学生を結びつけるイノベーションプラットフォームです。フィンランドで生まれたこの取り組みは、世界16か国60以上の大学が参加している国際的なプロジェクトです。北海道大学は日本で初めて2018年に、この取組を導入しました。

参加企業 — アイデア採用
← 課題提示 → 北海道大学
← アイデア提案 チームで検討 — 学生向け課題作成
← DEMOLA GLOBAL — ノウハウツールの提供

課題提供企業は、学生チームの生み出したアイデアを採用する場合には、学生チームからそのアイデアを利用するためのライセンスを受け、事業化へと繋げていきます。学生達は、課題提供企業へのライセンスを行う対価として課題提供企業から報奨金を受け取ることができます。一定の条件がそろった場合、大学/大学院の単位を得ることもできます。

SOCIAL COLLABORATION 社会・地域連携

「繋がる・拡がる連携」

社会・地域の産業創成と人材育成をオープンイノベーションを通じて実現することを目指しています。新しい価値を創造する産業を創成し、市民とともにシチズンサイエンスを推進します。

- 社会課題から新しい価値を創造する「場」のための研究を推進
- 研究領域を横断する異分野融合を推進する産学官金地域連携拠点
- 民間企業や自治体等の人材を含めた多様な人財の場

活動方針 次世代の社会課題を提起し、未来の子どもたちが安心して暮らせる2050年を目指す。

社会・地域創発本部(S-RED)、及び、社会共創部 社会連携課 体制図

※大学、企業、自治体等の人材で組織

現在、推進中のプロジェクト

大学(複数部局)・企業・地域横断プロジェクト
フードロス削減コンソーシアム
共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT) 地域共創分野、こころとカラダのライフデザイン共創拠点
COI継続「食と健康の達人」拠点
北海道プライムバイオコミュニティ
新規コンソーシアムによるプロジェクト提案(随時)
地方大学・地域産業創生交付金(まち・ひと・しごと) 魚介藻類養殖を核とした持続可能な水産・海洋都市の構築 ～地域カーボンニュートラルに貢献する水産養殖の確立に向けて～
慶應義塾大学(COI-NEXT)、リスペクトでつながる 「共生アップサイクル社会」共創拠点との連携研究
戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

組織体制

戦略デザイン部門	プロジェクト推進部門
企画デザイン	プロジェクト間の連携
社会デザイン	研究推進
連携デザイン	事業推進
ThinkTank(準備)	

水産学部、
地域水産業共創センター

⇕

外部アドバイザー

自治体 ⋮ 他大学 ⋮ 研究機関 ⋮ 官公庁 ⋮ 企業

社会・地域創発本部(S-RED) では、SDGsに関連する社会課題の解決に向け、戦略デザイン部門、プロジェクト推進部門と社会共創部社会連携課で協働して活動中。

活動事例 01 フードロス削減コンソーシアム

プラチナ触媒
フードロス削減コンソーシアム認定
Platinum Catalyst
No Foodloss Consortium

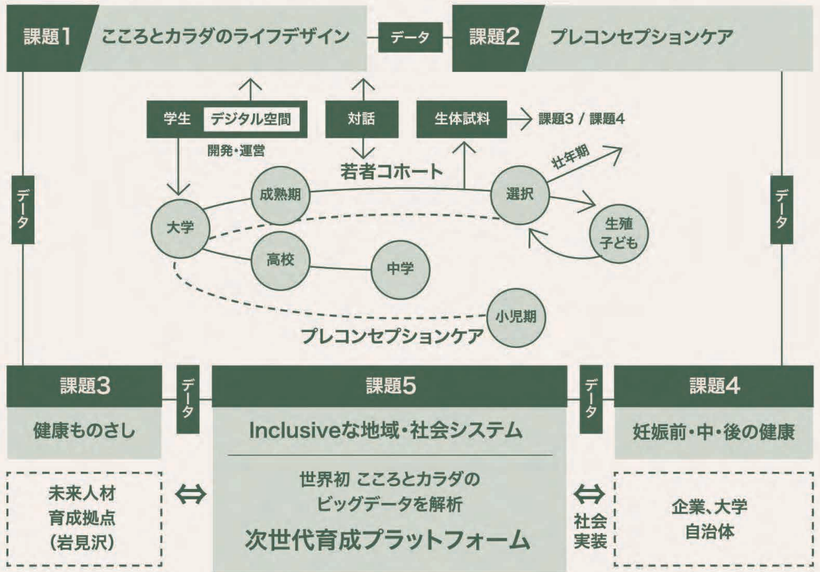
北海道大学と(株)セコマ、北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)、北海道立総合研究機構の4者で、青果物などの鮮度保持技術の活用でフードロス削減を目指すコンソーシアムを設立しました。北大が開発した「プラチナ触媒(※)」を用いた鮮度保持技術の実証実験を幅広く行うことで早期実用化を目指しています。現在、企業や自治体らも会員として活動しており、皆様の参画を募っています。

(※)プラチナ触媒:シリカ上にプラチナの微粒子が担持されている触媒。0℃の低温状態においても、熟成や鮮度低下に影響するエチレンガス の酸化分解が可能で、青果物の鮮度保持効果が確認されている。

活動事例 02 北大、共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)、地域共創分野 こころとカラダのライフデザイン共創拠点(2021～2030年度予定)

共創の場形成支援プログラムは大学・国立研究開発法人、企業及び自治体等の多様な機関の参画型の研究チーム・運営体制により産学連携共同研究を行うプログラムです。北海道大学COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」をつくり、「若者が、自分の選択肢を増やすことができ、他者(ひと)とともに、自分らしく幸せに生きる社会」の実現を目指しています。また、社会課題である少子化の改善に向けた活動を推進しています。

COI&NEXT
hokkaido univ.
こころとカラダのライフデザイン



プレコンセプションケアとは

小児期から成人期まで成長段階にあわせて、こころとカラダの健康、家族、ウェルビーイング、尊厳などを学ぶ、妊娠前からのヘルスケアのこと。

(株)NHKエンタープライズと連携し、学びのコンテンツを制作

活動事例 03 北海道プライムバイオコミュニティ

地域 Bio Community

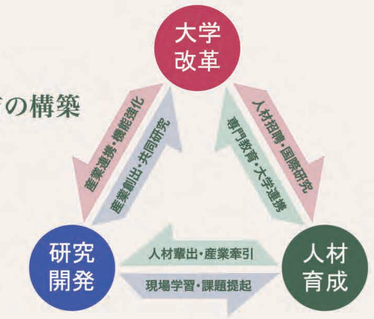
魅力的で持続的な一次産業へ、農業、水産業、林業の強化及び高度化を目指すコミュニティです。参画機関が持つ機能やリソースを提供し、それらを連携させることで、北海道で、新たな産業を構築していきます。

- **一次産業者**
  産業の担い手として、高度な手法を実装し、魅力的な一次産業を実現
- **自治体**
  コミュニティの活動の基盤となるフィールド構築や人材育成
- **教育研究機関**
  新しい産業を実現する技術革新において中心的な役割を果たす
- **企業**
  実証した技術等を、製品やサービスとして実装し、市場拡大等の取組みを実施

北海道の豊かで多様なフィールドを活用し、生産・加工・流通・消費の各段階を支える組織を集結し、幅広い北海道の一次産業(Primary Industry)のバリューチェーン(=プライムバイオバリューチェーン)を強化します

活動事例 04 地方大学・地域産業創生交付金(まち・ひと・しごと) 魚介藻類養殖を核とした持続可能な水産・海洋都市の構築

～地域カーボンニュートラルに貢献する水産養殖の確立に向けて～



函館市では、海洋環境の変化に伴い漁獲量が激減し、高収益かつ安定供給可能な水産物の創出が急務であるため、地の利(寒冷環境、北大水産・工業技術センター等の存在)を活かしたキングサーモンとコンブの完全養殖生産を合わせて行う地域カーボンニュートラル(RCN)養殖研究を推進し、その現場での教育研究により企業と若者を集め地域に定着させることで、持続可能な水産・海洋都市の実現を目指しています。

GLOBAL COLLABORATION 国際連携

産学連携の舞台を世界に

産学連携を通じて本学の国際的価値の向上と「世界の課題を解決し、豊かな未来社会」へ貢献

海外展開の目的

技術移転	共同研究	スタートアップ支援
Technology Transfer	Collaborative Research	Startup Support

産学連携グローバル推進室

海外における情報収集・発信及び国際連携のハブとして一体的に産学連携活動のオペレーションを担う「産学連携グローバル推進室」を2024年4月に新設。

【主な役割】

- ◎ 世界を俯瞰したグローバルな産学連携活動の推進・開発
- ◎ 北米、欧州、アジアに設置する海外拠点(リエゾンオフィス)に対する活動の司令塔
- ◎ 将来的なグローバル産学連携を担う人材(起業人材、支援人材)の育成
- ◎ 海外投資家との連携強化
- ◎ 大学研究シーズの国内外発信

海外拠点を通じたグローバル展開

～ 新たな産業を世界へ ～

Hokkaido University
University-Industry Global Development Office

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学産学連携グローバル推進室

US East Coast Liaison Office (New York)

産学連携北米東海岸拠点(2022年9月設置)

マーケット：北米東海岸
重点領域：バイオ、ライフサイエンス、等

Europe Liaison Office

産学連携欧州拠点(設置準備中)

マーケット：欧州圏
重点領域：バイオ、ライフサイエンス、環境・エネルギー、等

US West Coast Liaison Office

産学連携北米西海岸拠点(設置準備中)

マーケット：北米西海岸
重点領域：バイオ、ライフサイエンス、IT、等

Asia Liaison Office (Singapore)

産学連携アジア拠点(2024年5月設置)

マーケット：東南アジア 南アジア圏
重点領域：アグリフード、化学、スタートアップの資金調達、等

海外展示会参加実績

- ◎ BIO International Convention
- ◎ BIO-Europe
- ◎ BIO-Europe Spring

海外拠点の主な機能

- ◎ 現地コミュニティでのネットワーク形成
- ◎ 現地情報収集 情報提供
- ◎ 技術移転先企業の情報収集・提供
- ◎ 北大発スタートアップ企業の展開支援
- ◎ イベント開催 参加支援

BRAND 北大ブランド

■ 北大ブランド

本学の研究成果や成果物を活用し、かつ北大のシンボルマークや名称等の使用が認められた商品を「北大ブランド認定商品」としています。一部の商品は学内の店舗だけではなく、各企業の店舗や土産物店、インターネット等でも購入する事ができます。

北大ガゴメ®

北海道大学大学院水産科学研究院では、養殖期間を通常の1/3にしながらフコイダンを2倍以上に増加させる独自の栽培技術を開発。「北大ガゴメ®」は、この技術によって養殖されたガゴメ昆布の名称であり、北海道大学の登録商標です。

北大短角牛

北大短角牛は、北海道大学「静内研究牧場」で、放牧を主体として、子育てし、草を食べて育つ日本短角種の牛です。牧場外部から持ち込む化学肥料や購入飼料を極力少なくし、牛の健康にも配慮した持続可能な家畜生産システムで育てられています。

北大ラズベリー®

北大ラズベリー®は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・星野洋一郎教授の研究室で品種改良された、新しい品種のラズベリーです。海外のラズベリーは日本の気候では育てるのが難しいのですが、北大ラズベリー®は北海道に自生する野生のキイチゴと、海外の品種を掛け合わせることで、北海道でも育てやすく、かつ風味の良いラズベリーとして開発されました。

北大トラウト

北大トラウトは、北海道大学「七飯淡水実験所」で教育・研究のために生産されたトラウト（淡水で生活するサケの仲間）です。実験所で継代飼育されてきた魚を使用していますので、天然資源に負荷をかけることなく、かつ、役割を全うした魚を有効に活用することで、フードロスにも貢献しています。

認定商品一覧

◎ 札幌農学校 ：株式会社Kコンフェクト　◎ 北大グッズ各種：株式会社エルムプロジェクト　◎ 永遠の幸（ロースハム）：丸大大金ハム株式会社
◎ 雪の天使たち（梅酒）：日本清酒株式会社　◎ HOKUDAI Clark's Milkシリーズ：株式会社北海道農村研究所
◎ ナノ型コンドロイチン：丸共バイオフーズ株式会社　◎ 北大ガゴメ使用化粧品各種：有限会社ソワレ・インターナショナル／株式会社HSC COLLAGEN
◎ 北大石鹸：北海道マリンイノベーション株式会社　◎ 博物館オリジナルグッズ各種：特定非営利活動法人 手と手
◎ 林檎（北大産リンゴ使用シードル）：エミプラスラボ合同会社　◎ うしからもらったアイス：株式会社ダイマル乳品
◎ 北大おかき：株式会社北海道米菓フーズ　◎ 北大どら焼き：セイコーリテールサービス株式会社
◎ 塩を加えずに焼き上げたロールパン：日糧製パン株式会社　◎ おしょろ丸カレー：株式会社五島軒　◎ SALTO（無塩パン）：株式会社ジューヴル
◎ リナグリーン21プレミアムエキス：DICライフテック株式会社　◎ 北大完熟りんごゼリー、北大完熟ハスカップゼリー：株式会社ベリッシモ
◎ まるごと道産素材（漬物）：株式会社香貴　◎ 北大短角牛：株式会社北の牧場舎　◎ アノトキ – 燻製珈琲 –：株式会社RITARU
◎ 北大短角牛ビーフジャーキー他：合同会社サルーミハヤシ　◎ 北大短角牛ハンバーグ：株式会社ひだかミート
◎ 北大トラウトの燻製：株式会社ブリッジプロダクション　◎ UTme!（衣類）：株式会社ユニクロ　◎ 北大ガゴメのど飴：株式会社ringsフーズ
◎ 北大ラスク：株式会社キングベーク　◎ 北大の実り（クッキー）：株式会社もりもと　◎ 北大林檎（北大産林檎使用ビール）：株式会社ルピシア
◎ 北大ガゴメのカレー：株式会社エムフローズン

■ 北海道大学 研究シーズ集Webサイト

北海道大学の研究シーズをより多くの方に、より快適に見ていただけるよう、「北海道大学研究シーズ集Webサイト」を2018年4月から公開しています。当サイトは見やすさ、探しやすさを重視して設計されており、全文検索や分野、キーワードなどから北海道大学の研究シーズを検索いただけます。注目の技術や話題の技術、世界的に優位性のある技術についてご紹介する「注目シーズ」や、SDGsの項目で検索可能な機能など、ここでしか見られないような独自のコンテンツも充実しています。共同研究や課題解決の糸口として、ぜひご活用ください。

研究シーズ集Webサイト▼

閲覧数ランキング、研究キーワードランキング、閲覧履歴、注目シーズ、新着シーズ、開放特許と知りたいカテゴリーで検索できます。

掲載部局

◎ 文学研究院　◎ 法学研究科　◎ 情報科学研究院　◎ 水産科学研究院　◎ 地球環境科学研究院　◎ 理学研究院　◎ 薬学研究院　◎ 農学研究院
◎ 先端生命科学研究院　◎ 教育学研究院　◎ メディア・コミュニケーション研究院　◎ 保健科学研究院　◎ 工学研究院　◎ 経済学研究院　◎ 医学研究院
◎ 歯学研究院　◎ 獣医学研究院　◎ 公共政策学連携研究部　◎ 北海道大学病院　◎ 低温科学研究所　◎ 電子科学研究所　◎ 遺伝子病制御研究所
◎ 触媒科学研究所　◎ スラブ・ユーラシア研究センター　◎ 情報基盤センター　◎ 量子集積エレクトロニクス研究センター　◎ 北方生物圏フィールド科学センター
◎ 観光学高等研究センター　◎ 北極域研究センター　◎ 創成研究機構　◎ 産学・地域協働推進機構

■ 北海道大学産学連携メールマガジン

北海道大学の産学連携に関する情報を、月に1度のペースで発信しています。一押しの研究シーズ情報、研究成果、勉強会・セミナー開催情報や企業と研究者とのマッチングイベント情報のほか、北海道大学の特色ある部局紹介など各種情報を発信しています。また「北大ブランド」として、企業とのコラボ商品等についてもご案内しております。この機会に是非、メールマガジンへのご登録をお願いいたします。各検索サイトから「北大産連メルマガ」で検索、もしくは以下のURL、右記QRコードよりご登録いただけます。

メルマガ新規登録

メールマガジンの登録はこちら▶https://www.mcip.hokudai.ac.jp/pub/mail_magazine/entry.html

ACCESS MAP

産学連携推進本部（2階）
スタートアップ創出本部（3階）

社会・地域創発本部（1階）

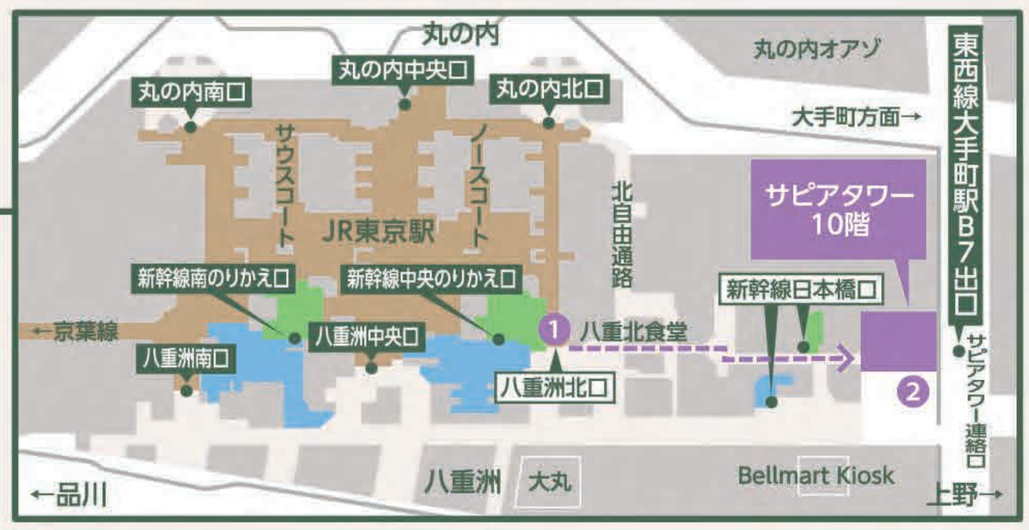
産学協働サテライト室（東京オフィス内）

サピアタワー 10階

ACCESS MAP JR東京駅からお越しの場合

1. 八重洲北口改札を出て直進します。
2. 駅構外へ出てすぐ斜め左側のビルとなります。
3. エスカレーターで3階までお越しください。（受付にて入館手続きとなります）

在来線改札内　東海道・山陽新幹線改札内
東北・山形・秋田・上越・北陸・北海道新幹線改札内



ワンストップ窓口 WEBサイト
https://www.mcip.hokudai.ac.jp/about/onestop.html

北海道大学 研究シーズ集 WEBサイト
https://seeds.mcip.hokudai.ac.jp/

北海道大学 産学・地域協働推進機構 〒001-0021 北海道札幌市北区北21条西11丁目 https://www.mcip.hokudai.ac.jp/
【産学連携推進本部】北キャンパス総合研究棟3号館2階 【社会・地域創発本部】フード＆メディカルイノベーション国際拠点1階
【スタートアップ創出本部】北キャンパス総合研究棟3号館3階
【産学協働サテライト室（東京オフィス内）】東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー10階